

令和4年度の当初予算を紹介します

「～ まちの変化を実感、そして飛躍に向けた始動 ～」

問 財政課 ☎086-803-1146 📠086-803-1735

令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症拡大が地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼす中、**○新型コロナウイルス感染症対策** に万全を期しつつ、**○街を楽しむ** **○地域の振興** **○子育て・教育** **○産業・観光の振興** の各分野、さらには、**○DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進** **○地球温暖化対策（脱炭素社会の推進）** など、重要施策に取り組むとともに、今後の感染症対策にも臨機応変に対応できるよう、業務改革の推進や事業の進度調整、有利な財源の活用、備えてきた基金の取り崩しなどにより、将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和4年度の当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ編成しています。

令和4年度当初予算の概要

一般会計は前年度と比べて88億円増の3,529億円と過去最高となっています。

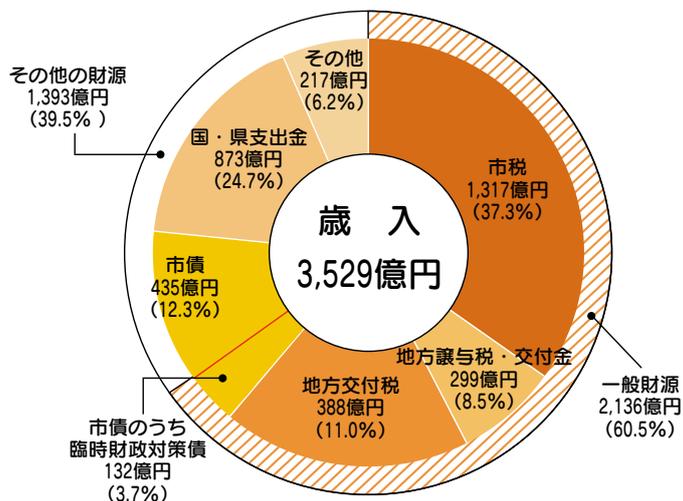
また、一般会計、特別会計、事業会計を合わせると6,263億円で、前年度と比べて2.1%増加しています。

当初予算 前年度との比較

区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比
一般会計	3,529億円	3,441億円	2.6%増
特別会計	1,960億円	1,929億円	1.6%増
事業会計	774億円	762億円	1.5%増
合計	6,263億円	6,132億円	2.1%増

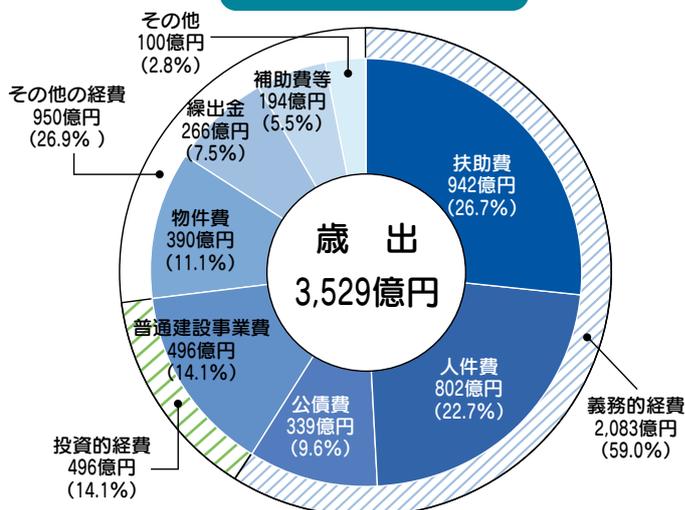
一般会計の内訳【（ ）内は構成比】

歳入



- ◆市税は、給与所得の増加による個人市民税の増加や企業の業績回復傾向による法人市民税の増加、新型コロナウイルス感染症に係る特例措置等の終了による固定資産税の増加などにより、対前年度比で68億円増加しています。
- ◆地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な交付税は、臨時財政対策債の減少により、62億円減少しています。
- ◆市債のうち、臨時財政対策債以外は、岡山芸術創造劇場整備費の増加などにより、38億円増加しています。
- ◆国・県支出金は、障害者自立支援関係費や市街地再開発事業の増加などにより、34億円増加しています。

歳出 (性質別)

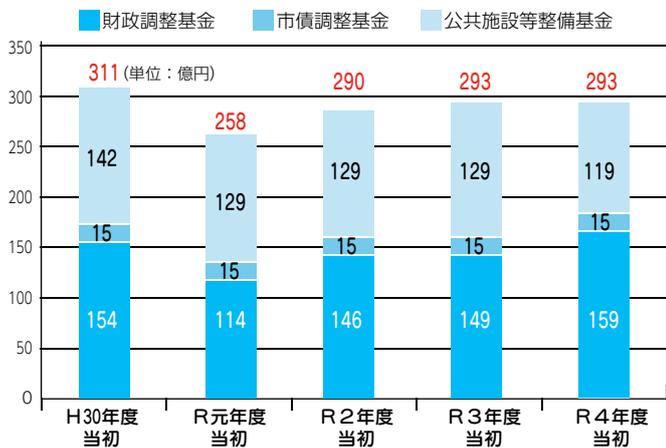


- ◆物件費は、廃棄物処理や放課後児童クラブに要する経費の増加などにより、対前年度比で33億円増加しています。
- ◆扶助費は、障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増加などにより、22億円増加しています。
- ◆普通建設事業費は、岡山芸術創造劇場整備費の増加や岡山北斎場整備費の減少などにより、16億円増加しています。
- ◆線出金は、特別会計（後期高齢、介護）への線出金の増加などにより、7億円増加しています。

財源調整のための基金残高の推移

令和4年度は、岡山芸術創造劇場整備などによる財源不足に対応するため、かねてより準備してきた公共施設等整備基金の取り崩しの増額など、財源調整のための基金から前年比で10億円増の80億円を取り崩しています。

今後の感染状況が見通せない中、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより基金の残高を前年度と同額程度に維持し、不足する財源の確保に努めています。

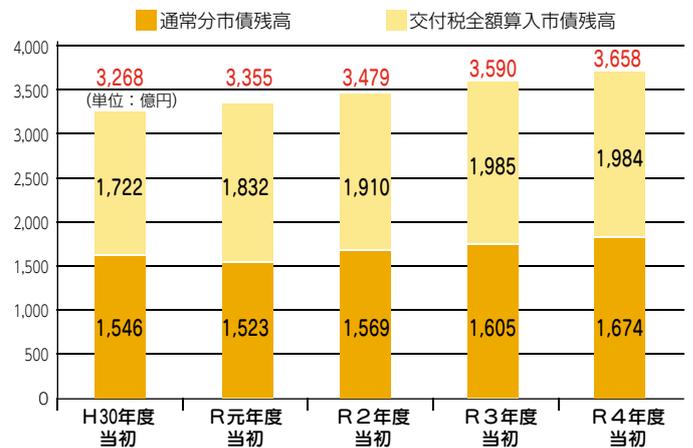


一般会計市債残高の推移

一般会計全体の市債残高のうち、臨時財政対策債等(※)を除いた通常債の残高は、借入額の抑制により継続的に減少してきましたが、喫緊の課題への対応などに伴い令和2年度当初予算から増加に転じています。

今後も公共施設の老朽化対策や再整備などにより、市債借入額の増加が見込まれるため、後年度に国から財源措置のある有利な市債の活用に努め、将来の返済が財政を圧迫しないよう、市債残高を管理しています。

(※) 臨時財政対策債等・・・返済のための財源が全額国から手当されるもの



令和4年度当初予算の特徴 (主要な事業)

「新型コロナウイルス感染症対策」

- ・感染拡大防止など 14億456万円
- ・地域経済等への支援 6億877万円
- ・市民生活・活動への支援 4億1,371万円

「街を楽しむ」

- ・歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり 2億400万円
- ・下石井公園の魅力向上(再掲) 3,800万円
- ・緑のボリュームアップ(再掲) 6,400万円
- ・市街地再開発事業の促進 33億9,986万円
- ・岡山城の魅力アップ 11億300万円
- ・岡山芸術交流2022 1億4,000万円
- ・岡山芸術創造劇場ハレノワの整備 136億2,800万円
- ・多目的屋内施設(アリーナ)に関する基礎調査 500万円
- ・岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備 6億1,200万円
- ・公共交通高齢者・障害者運賃割引 8億1,200万円

「地域の振興」

- ・活力ある農業の振興 2億5,328万円
- ・有害鳥獣による農作物被害等への対策 1億円
- ・日本遺産活用の推進 2億5,086万円
- ・文化財と観光の融合による新たな魅力づくり 3億2,121万円
- ・高松城址公園の魅力向上 220万円

「子育て・教育」

- ・放課後児童健全育成 29億1,250万円
- ・子ども医療費助成 22億3,100万円
- ・医療的ケア児等の受入体制整備 2,017万円
- ・魅力ある授業づくりの推進 2億6,620万円
- ・問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援 4億9,487万円
- ・夜間中学設立準備の検討 100万円
- ・GIGAスクール構想によるICT活用支援 2億6,100万円
- ・学校空調設備(特別教室)に関する基礎調査 200万円
- ・ヤングケアラーへの支援(再掲) 3,173万円

「産業・観光の振興」

- ・スタートアップ支援 6,800万円
- ・中小企業設備投資等支援 1億円
- ・岡山デスティネーションキャンペーン 9,600万円
- ・岡山芸術創造劇場開館機運醸成による商店街の活性化 740万円

「DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進」

- ・中小企業デジタル化の推進 7,240万円
- ・業務改革の推進 2,200万円
- ・DXを活用した防災力の強化 1,580万円
- ・犬島オンライン健康相談等モデル事業 170万円
- ・スマート農業推進モデル事業(再掲) 525万円

「地球温暖化対策(脱炭素社会の推進)」

- ・地球温暖化対策 5億2,759万円
- ・岡山市域における脱炭素先行地域調査(再掲) 1,400万円

「PHO(Positive Health Okayama)」

- ・SIBを活用した健康ポイント事業 4,831万円
- ・フレイル対策 800万円
- ・在宅医療介護連携の推進 4,120万円
- ・認知症サポーター活動の促進(チームオレンジなど) 700万円
- ・地域共生社会の推進(重層的支援体制整備) 15億3,824万円

「安全・安心なまちづくり」

- ・地域防災力の強化 3億1,330万円
- ・下水道・河川等による浸水対策 36億1,310万円
- ・ごみ処理広域化処理施設整備・運営 13億7,770万円
- ・用水路等転落防止対策 2億1,000万円
- ・防犯灯設置支援 3,000万円
- ・消防団員の処遇改善 3億1,000万円

「SDGsの推進」

- ・SDGs未来都市の推進 666万円